

銘柄分析レポート：ビジネスエンジニアリング（４８２８）

製造業のサプライチェーン管理システムを主軸としている老舗のシステム開発会社です。東洋エンジニアリングのシステム部門として１９８７年に事業を開始しました。１９９９年に分離独立し、２００１年にＪＡＳＤＡＱ上場。その後、親会社の業績悪化により２０１８年に同社株が売却されたため、現在は図研が筆頭株主となっています。

１ 業績

人々の移動やモノの流れが制限され「ＩＴなしでは仕事ができない」コロナ渦を経た、我が国製造業におけるシステム投資に対する認識の変化を受ける形で、業績は堅調に推移しています。

	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3	2025/3
売上高	15,253	17,728	17,707	17,760	18,506	19,493	20,776
売上総利益	4,721	5,217	5,564	5,882	6,994	7,852	9,091
営業利益	1,208	1,573	1,902	2,412	3,246	3,885	4,676
当期純利益	804	853	1,288	1,643	2,328	2,625	3,330
営業CF	2,157	2,088	2,539	2,287	3,278	3,553	3,522
設備投資	-639	-737	-759	-732	-711	-986	-1,117
コアFCF	1,518	1,351	1,780	1,555	2,567	2,567	2,405
1株純利益	28.4	29.0	43.6	55.0	38.8	43.8	55.6
1株配当金	8.6	9	14	16.8	12.8	15.6	20

	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3	2025/3
売上総利益率	31.0	29.4	31.4	33.1	37.8	40.3	43.8
営業利益率	7.9	8.9	10.7	13.6	17.5	19.9	22.5
投下資本回転率	3.7	4.7	5.6	4.7	5.6	5.1	4.2
ROIC	29.1	41.9	59.7	63.9	98.0	100.7	94.8
ROE	18.4	16.9	20.4	22.0	25.1	24.0	24.9
自己資本比率	54.0	58.6	60.2	65.1	69.3	69.7	72.5

ROIC（％）＝営業利益÷投下資本 または ROIC（％）＝営業利益率×投下資本回転率

２ セグメント情報

安定収益基盤のソリューション事業は、ＳＡＰなど他社ＥＲＰパッケージをベースとしたコンサルティング、システム構築を行っています。成長エンジンのプロダクト事業は、自社ＥＲＰパッケージ「ｍｃフレーム」のパートナーを通じた販売、コンサルティング、システム構築を行っています。システムサポート事業は、顧客の導入したシステムの運用・保守がメインです。

		2020/3	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3	2025/3
ソリューション	売上高	11,961	12,219	11,413	11,689	12,767	13,150
	営業利益	2,303	2,027	1,690	2,642	3,244	3,635
プロダクト	売上高	5,323	5,249	6,004	6,393	6,326	7,083
	営業利益	1,020	1,433	1,889	1,921	2,024	2,636
システムサポート	売上高	443	387	341	423	398	542
	営業利益	208	308	344	450	498	499